



2026年7月10日

各 位

会 社 名 株式会社ハイレックスコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 寺浦 太郎
(コード番号 7279 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務執行役員 管理本部長 奥村 真
(TEL 0797-85-2500)

国内生産体制の再編に関するお知らせ

当社は、国内の自動車事業における生産体制の再編に向けた基本方針について決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景及び目的

当社グループは、事業環境の変化および将来の持続的成長に向け、競争力強化を最重要課題と位置付けております。

現在、当社の国内生産は13拠点体制で運営しており、需要構造の変化や人手不足の進展等により、生産効率面での課題が顕在化しております。

また、従来のケーブルおよびウインドレギュレータを中心とした製品ポートフォリオに加え、海外では近年、複数製品を組み合わせたモジュール領域におけるニーズへの変化も進んでいますが、国内でも最近になってドアモジュール製品の引き合いを頂くようになり、当社としてもこれに対応した生産体制への進化が求められております。

この状況を踏まえ当社は、

- ① 生産効率の向上および稼働率改善による競争力の強化
- ② 需要構造や製品構成の変化に対応できる生産体制の構築
- ③ 将来の成長領域へのリソースシフト

を目的として、顧客利便性を損なわない配慮をしつつ、国内生産体制の再編を推進してまいります。

2. 再編の基本方針

国内生産体制の再編は、生産効率の向上、特に稼働率の改善を主な狙いとして取り組んでまいります。

これまで当社は、顧客（カーメーカー）別に拠点を配置し、生産体制を構築してまいりました。その結果、各拠点において類似設備や機能が分散する構造が生まれ、製品構成の変化や需要変動への柔軟な対応が難しくなり、稼働率低下の一因となっております。

この課題に対し、以下の2つの観点から生産体制の再構築を進めてまいります。

(1) 製品別レイアウト

生産体制を製品別の視点で再編し、ケーブルはケーブル専用工場、ウインドレギュレータはウインドレギュレータ専用工場といった製品軸ごとに生産を集約いたします。これにより、製品特性に応じた最適な設備配置および人員配置を実現し、生産効率の向上を図ります。

(2) 機能別レイアウト

生産工程の役割に着目し、部品・部材の製造を担う前工程機能と、製品の組立を担う後工程機能を適切に分離・集約いたします。これにより工程ごとの専門性を高めるとともに、拠点間の役割を明確化し、全体最適の観点から稼働率の向上および負荷の平準化を図ります。

また、これらの再編を通じて創出される余力については、各拠点の特性に応じて、デポ機能や試験・評価機能などへの活用を図ることで、柔軟で効率的な生産体制の構築を進めてまいります。

さらに、本再編は生産効率のみならず、供給安定性、BCP（事業継続計画）、人材確保性、工場拡張性などの観点も踏まえ、多面的な評価に基づき検討・実行してまいります。

3. 今後の方向性

本再編を通じて、当社は既存事業の収益改善を図り、安定的に利益を創出できる生産基盤を確立してまいります。

そのうえで、従来の単体製品の提供から一歩進み、複数機能を組み合わせた製品領域への展開を可能とする体制へと進化させ、中長期的な成長につなげてまいります。

また、再編に伴い拠点間での生産移管や機能再配置が進むことから、従業員のスキル拡大を推進し、適正配置を通じた人材基盤の強化にも取り組んでまいります。

4. 今後のスケジュール

本再編は2028年度中の完了を目標として、2027年度に着手し、段階的に実施してまいります。

現在、具体的な実施内容について詳細検討を進めている状況です。

5. 業績への影響

本件による当社連結業績への影響につきましては、現在精査中ではありますが、重要な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

以 上